

2021年11月8日

株式会社リガク

## X線回折装置の最新機種「MiniFlex XpC」を発表

X線分析・検査機器のトップメーカーである株式会社リガク（本社：東京都昭島市、代表取締役社長：池田俊幸、以下「リガク」）は、材料品質管理に最適な小型X線回折装置「MiniFlex XpC（ミニフレックス エックスピーシー）」を、11月8日より国内外で販売開始することを発表します。

リガクは創立以来、創薬、新材料研究、新製品開発に役立つX線分析装置を数多く提供してきました。本装置はリガクの70年の歴史の中で培われたX線技術によって製品化を実現した、材料品質管理に最適な小型X線回折装置です。

リガクのロングセラー卓上型X線回折装置「MiniFlex（ミニフレックス）」の簡便性を追求し、X線回折装置のフラッグシップ「SmartLab（スマートラボ）」の要素技術を搭載したことで、小型装置ながら高分解能・高精度で簡便な測定が可能になりました。試料ローディング機構を新たに開発し、各オートメーションシステム、試料搬送用ロボットと接続が可能です。

分析ソフトは、スクリーニング/品質管理用ソフトウェア EasyX（イージーエックス）を標準で装備しているため簡単に操作でき、安定した分析結果が得られます。

オンライン・オフラインを問わず、品質管理現場の作業性を向上させることができ、製薬、電子部品、電池材料、セメントなどのスクリーニングや品質管理用途に有効です。

出荷開始予定：2022年2月

初年度販売目標：100台（全世界）

MiniFlex XpCは、11月8日から10日まで、幕張メッセで開催される JASIS 2021 に出展します。

### 主な特長

- ・品質管理に適した高耐久・高精度の試料水平小型ゴニオメーター
- ・コンパクトかつ高出力な新型X線発生装置
- ・広い検出面積を誇る高速1次元検出器 D/teX Ultra250
- ・試料ローディング機構
- ・上位機種に匹敵する角度分解能、低角度測定能力
- ・品質管理に最適なソフトウェア EasyX
- ・各オートメーションシステム、試料搬送用ロボットとの接続が可能
- ・オンライン対応機として世界最小クラスの設置面積（約1m<sup>2</sup>）を実現

本リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社リガク X線機器事業部 副事業部長：小澤 哲也

リガク・ホールディングス株式会社 広報宣伝課課長：内匠 優理香

[info@rigaku.co.jp](mailto:info@rigaku.co.jp)

TEL：042-545-8190